

月1回 中旬・下旬発行予定

道新 Oh! クッタリ♪

道新販売所通信

ねっとわーく屈足

ねっとわーく屈足Oh!クッタリ♪編集室
編集責任者 岩佐 彰
新得町屈足幸町1丁目53番地
(道新岩佐販売所内) TEL65-3111

天然記念物の屈足タンチョウ

昨年到现在2例目339番

バンディング「標識調査足環」成功

5月末に生まれたと推測される天然記念物のタンチョウのバンディング鳥類標識調査足環(個体識別)が7月15日に釧路NPOタンチョウ保護研究グループ(百瀬邦和理事長)や全道のボランティア合わせて7人で時折激しい雨が降る中バンディング成功した。雌雄についてはDNAの調査待ち。



8月道新の休刊日は13日(月)です。

○ よろしくお願いたします。

タンチョウが屈足生まれの証となる大事な作業であるバンディング鳥類標識調査足環(タンチョウにも個体識別番号をつけて保護に役立てる)をNPOタンチョウ保護研究グループ(百瀬邦和理事長)や全道のボランティアで実施した。識別番号は336(339-15-B)これにより個体識別で年齢やなわばり、夫婦の関係などさまざまな情報が入る。またリングを付けたタンチョウに会えるの

は運が非常に良いと言われている。「ヒナの状態はよく体重は4.35kg、もう翼の羽が伸び始めてきていました(写真参照)。あと一ヶ月(8月半ば)ほどで飛び始めるでしょう。」(百瀬邦和理事長)NPOタンチョウ保護研究グループによると、今年のバンディングは、十勝・釧路・根室地方で合計5日間行い、19羽のヒナに標識をつけた。この調査は1988年に山階鳥類研究所によって環境省(当時は環

境庁)の鳥類標識調査の一環として始められ、毎年行われている。2005年からはこの調査が環境省の(タンチョウ)保護増殖事業に移され、タンチョウ保護研究グループが事業を委託されて行ってきた。しかし、今年からは保護増殖事業から外され、タンチョウ保護研究グループの独自事業として継続している。1988年からの累積放鳥数(ヒナのバンディング)は今年、丁度519羽となった。(動物園で育ったヒナ等別)



「今年も十勝で6羽のタンチョウに標識し、これまでに十勝で標識放鳥したタンチョウは102羽になりました」最近特に動きが活発な屈足っ子、歩く?走る?行動範囲がかなり



週刊誌の定期購読のご案内

週刊誌の定期購読のご案内です。定期購読誌につきましては宅配いたします。お気軽にお問い合わせ下さい。お申込みは 65-3111まで。

最近餌を求めて人慣れが進み、牧場や畑など、人間の近くに出てくるものが多くなっているという。その結果、牧畜用飼料や畑、トウモロコシの芽生えを引き抜い

いずれも7月15日午後2時40分前後撮影。

写真II左上
作業を終えた保護グループボランティアの皆さん。1名は車両を回収に。

写真II右上

タンチョウ保護グループによるバンディング足にキラリと光る「3369」の足環。

て食べたり、収穫前の小麦畑を荒らしたりする農作物への被害も出てきている。生息数が多くなり今後我々地域住民としてどう共存していけるのか、考えなければならぬ。

金沢市「元力」の張本人

野田聖子を操る

元暴力団員の夫

小室アンセの怒り

早大交響楽団の専師

学生1300万払え

殺人猛暑に勝つ

三食メニューはこれだ

週刊文春

8月2日号 / 木曜発売 / 定価420円(税込)